



## 災害ボランティアセンターレポート

5月27日から6月2日まで石川県七尾市で立ち上がっている「七尾市災害ボランティアセンター」で運営支援へ行ってきました。災害ボランティアセンターとは災害が起こった時、現地へ駆けつけてくださったボランティアの方の活動を円滑に進められるよう設置されています。



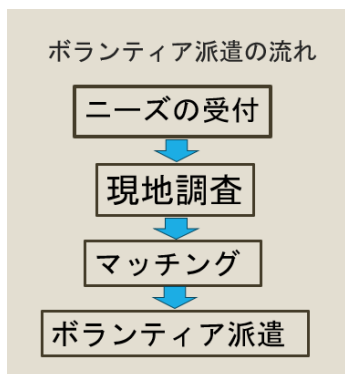
私が行って  
きました！

私は、被災者とボランティアを繋ぐマッチングを行いました。「崩れた土壁の撤去をしてほしい」「避難所からの引っ越しを手伝ってほしい」「災害で使えなくなった家具の撤去をしてほしい」など様々なニーズがあり、ボランティアに参加されている方に依頼内容や場所などをお伝えし、活動していただきました。

県内外からたくさんのボランティアの方が来てくださり、「以前、被災した時助けて頂いたので今回、ボランティアとしてきました」と言われる方もいました。

1月1日の震災から5か月が経過していましたが、まだまだ手付かずの道路や家屋が沢山あり、ニーズの中には隣近所の助けあいでも解決するのではないかと思うものもありました。

1週間災害ボランティアセンターで活動をして、日頃から有事に備えること、そして地域のつながりの重要性、支えあいの大切さをひしひしと感じました。



## 集いの場のカタチ

6月14日に地頭自治会の健康講座でふれあい・いきいきサロンについてのお話をしました。

当日はふれあい・いきいきサロンを体験してみよう！ということでレクリエーション体験とコーヒーを飲みながら地頭自治会の集いのカタチを話し合われました。

参加者からは、「子ども達の居場所にもなるようにお菓子を置いて駄菓子屋のようにしてはどうか」「特技を持った人の披露の場にもできるのではないか」など様々な意見が出ました。

みなさんのアイデアが地頭自治会の集いの場のカタチとなり、様々な方が集まる機会が生まれると良いですね。

丹波市社協では、集いの場づくりのお手伝いをさせていただきます。お気軽にご相談下さい。



【みなさんもおうちで脳トレ！】

足踏みをしながら1~30まで数え3の倍数と5の倍数の時にだけ手を叩きます。





# 西中サロン de 出張ふくし教室

笑いヨガをやってみたい！思いっきり笑いた～い！の要望を受け、脳トレと笑いヨガを中心にこれから気をつけなければならない熱中症のお話も交えたふくし教室を行いました。ボランティアさんによる大型紙芝居の後に熱中症の話、脳トレ、笑いヨガと盛りだくさんの内容。

サロンに来たら「ハハハ」と挨拶。  
街で会っても「ハハハ」と挨拶。  
声に出さなくても笑顔が挨拶。  
笑う門には福が来ます♡



笑うことは体や心にとってもいい影響を与えます。

## みんなに出来るふくしを考える！

6月6日中央小学校4年生39名が福祉の勉強をする中で体の不自由な方はどうやって生活しているか、車いすで生活するのって大変じゃないのかな？などを疑問に思い、実際に車いすの体験をしました。

4人(乗る人、補助する人、サポートの2人)が1つのチームになっての体験では、みんなで協力して全員体験することができました。

体験後の感想では「初めて車いすに乗れて楽しかった」というのが多かったですが、大きくなってからこの体験を思い出して何かの役に立てばと思います。

「困っている人がいれば、声をかける。」今、子どもみなさんができるいちばんの人助けです。



段差はティップングバーを踏んで持ち上げます。



## 社協が聞きますその悩み！

こんな悩みはありませんか？



行政などでの手続きが不安。

生活費を計画的に使えない。



日常生活自立支援事業は支払いや手続きに不安がある方が安心して生活できるようにお手伝いする事業です。

○対象者○

- ・判断能力に不安のある高齢者や障がいのある方など
- ・この事業の契約内容が理解でき、契約の意思がある方
- ・在宅で生活されている方

○お手伝いできること○

- ・日常的な金銭管理
- ・郵便物の確認
- ・通帳/印鑑の預かり
- ・公的書類の預かり
- ・福祉サービスなどの利用援助

※契約行為や保証人になる事、大きな財産の預かり、買い物代行や家の片づけなどはこの事業ではお手伝いできません。

詳しくは、丹波市社協まで！